



上田市立傍陽小学校だより 令和7年9月19日

光れ！そえひの子



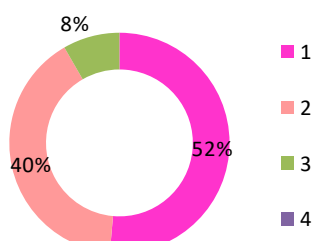
Ⅰ 学期学校自己評価アンケートの結果について

7月に行ったアンケートの結果をお伝えします。内容については、昨年度と同様のものとなっております。
結果を踏まえ、今後の児童指導・学校運営に活かして参ります。

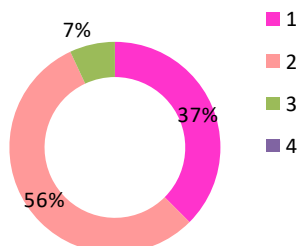
Ⅰ学期をふり返って（児童評価）

■ 1 そうだ ■ 2 まあそうだ ■ 3 あまりそうでない ■ 4 そうでない

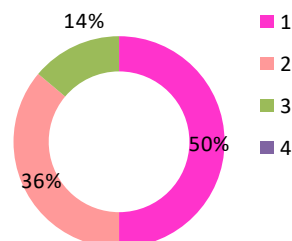
1. 自分から、気持ちの良いあいさつや 返事を していますか。



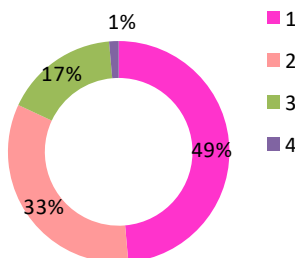
2. 友だちを 思いやり、優しい言葉を かけていますか。



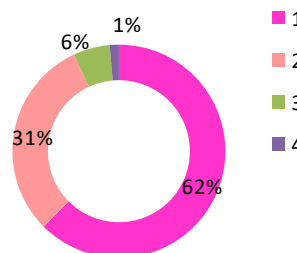
3. 自分で考えたり、思ったりしたことを 友だちや 先生に 話を していますか。



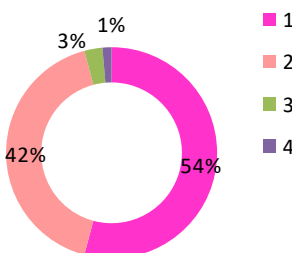
4. 地域での 学習や 活動を 楽しみ、感じたことを 伝えて いますか。



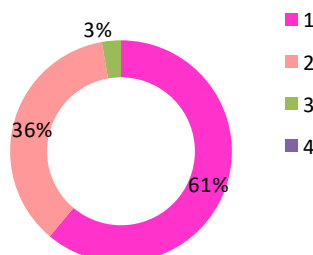
5. 授業は 分かりますか。



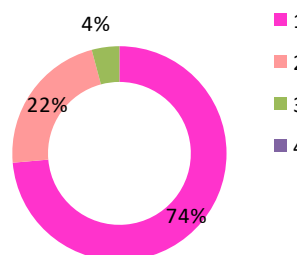
6. 授業中、先生や 友だちの話を 最後まで 聞いていますか。



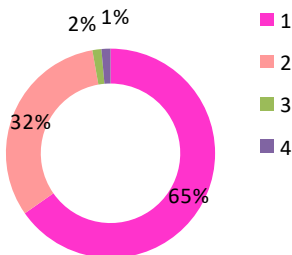
7. 他の 学年の 友だちと 力を 合わせて 掃除をしたり、仲良くしたり していますか。



8. 学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることを ほめたり、はげましたり してくれますか。

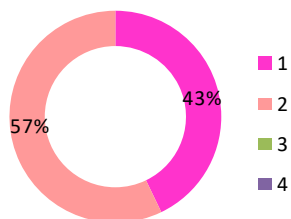


9. 学校は 楽しいですか。

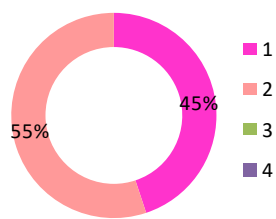


1学期をふり返って(保護者評価)

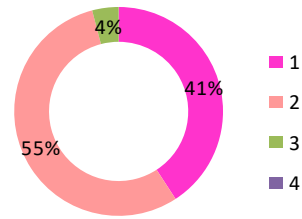
1. 学校は、あいさつや返事、感謝の言葉などを伝え合い、コミュニケーション力を高める指導をしていると思いますか。



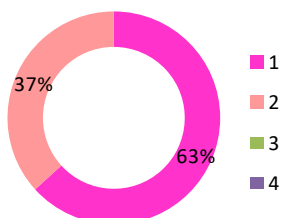
2. 学校は、自他を大切にする気持ちが育つ指導・支援をしていると思いますか。



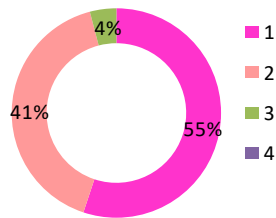
3. 学校は、子どもたちが自分の思いを伝え、表現する力を付けることに努めていると思いますか。



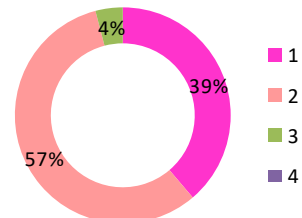
4. 学校は、地域を舞台にした学習や活動に取り組み、地域の方々とのふれあいを大切にしていると思いますか。



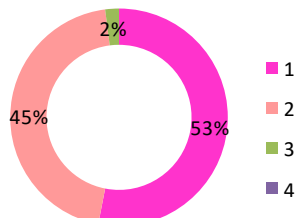
5. お子さんは、授業が分かって話していますか。



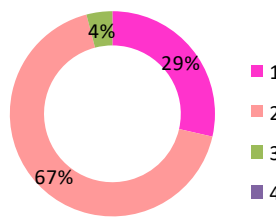
6. 学校は、友だちとの活動や話し合いなどを通して、友だちとのかかわりから学ぶ授業に努めていると思いますか。



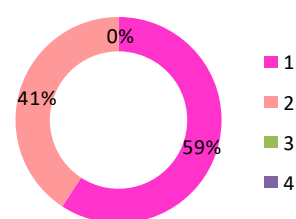
7. 学校は、異年齢との活動を大切に、協力する大切さを感じたり社会性を身につけたりできるように努めていると思いますか。



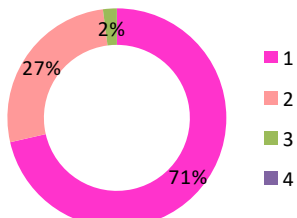
8. 学校は、子どもの様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細やかな指導をしていると思いますか。



9. 学校は、学校だよりやホームページ、学年通信などで、子ども達の様子や学校の願いの発信に努めていると思いますか。



10. お子さんは、学校が楽しいと話していますか。



《アンケート結果の考察》

1 児童アンケートより

▼ほとんどの項目で、肯定的評価が90%を超えました。

- ・昨年と比べ、「学校は楽しいですか」の肯定的評価が大幅に上がり、95%を越えました。学校としてはたいへん嬉しい結果です。子どもたちにとって「楽しい」学校とはどういうものをさらに考え、楽しい学校づくりに努めてまいりたいと存じます。
- ・「授業が分かる」が90%を超えました。授業が分かることは、学校生活の基本であるので、嬉しく存じます。が、昨年度より若干下がっていますので、肯定的評価でなかった子たちの思いにも寄り添い、授業が分かり、学ぶことが楽しいと思えるよう、努めて参ります。
- ・「自分から気持ちの良いあいさつを～」 「友だちを思いやり～」 「他の学年の友だちと～」 も90%を超えていました。重点目標の具現に向けての「太陽のようなコミュニケーション」に関わるあいさつや返事を意識して取り組んでいる様子や、「支えあう仲間 個と協働の学び」につながる、思いやりや協力を大切にしている様子がうかがえ、嬉しいことです。また、「先生や友だちの話を最後まで聞いていますか」の項目が昨年度より肯定的評価が上がりました。相手を思う気持ちが育ってきている表れかと思われます。これらの姿が、今後さらに高まるよう、子どもたちが自分たちの良さに気づき、自信を持てるように励ましていきます。
- ・90%を下回った項目は、「考えたり思ったりしたことを話している」「地域での学習や活動を楽しみ、感じたことを伝える」という学校教育目標に関わる項目でした。子ども同士で伝え合う、教師に伝える、保護者・地域に発信する等の機会を作ると同時に、伝え合えたことを認め、自信をつける方策を考えていきます。また、話したい、伝えたいと思えるような学習活動を仕組んでまいります。

2 保護者アンケートより

▼おうちの方の評価も「そうだ・まあまあそうだ」が全項目で95%を超え、高評価をいただきました。ありがとうございます。

- ・あいさつについて、自他を大切にする気持ち、地域での活動やふれあい、情報発信についての項目において、100%の肯定的評価をいただきました。これからも気持ちのよいあいさつができる子ども、自他を大切にする子ども、地域とともにある学校をめざしてまいります。
- ・授業が分かる、学校が楽しいの2項目は、双方90%を超えており、昨年度の同時期より高評価をいただきました。学校の本分は授業であるので、よりよい授業となるよう、さらなる授業改善に取り組めます。また、子どもが楽しいと感じられる学校とはどんな学校かを改めて考え、楽しい学校を目指していきます。



- ・評価が昨年度の同時期より下がったのが、「表現する力」「友だちとのかかわりから学ぶ授業」でした。「表現する力」を付けるために何をしたらよいのか、授業の中でどう友だちとのかかわりをもたせるか、考えていきたいと思います。

3 自由記述より

《児童アンケート》

- ・多くの子どもが、できたことや頑張ったことを教師から認められたときに嬉しかったと書いています。また、相手を思いやった行動や気持ちの良いあいさつなど、行動を認められたときも嬉しかったという声がありました。頑張りや良い行動が即座に認められることが自信につながると考えます。
- ・友だちから「すごいね」と言われたことも嬉しかったという声が多かったです。クラスの中で、異学年の活動の中で、一人一人の子どもが認められるような場面を考え、良さを認め合うことが、子どもたち同士の良い関係をつくる土壤になると思われるので、どの子も認められた嬉しさを感じられるように学習や活動を仕組んでいきたいと思います。
- ・家庭での嬉しいこととして、テストの点数や何かの結果で褒められたという答えの他に、お手伝いや相手を思いやった行動を褒められて嬉しかったという答えも見られました。「人の役に立てた」「自分の行動を喜んでもらえた」と感じる経験が、自分の存在価値を感じることににつながると考えます。学校でも結果だけでなく過程を大事に考え、また、役割を果たす経験ができるよう、はからっていきます。
- 友だちとの関係で、困っていることがあるという声はいくつかありました。子どもたちの様子に目を配り、訴えをよく聞き、状況に合わせてきめ細やかな指導をしていきたいと思います。同時に子どもたちが認め合える関係を築けるように考えていきたいと存じます。

《保護者アンケート》

- ・お子さんが嬉しいと感じたり自信が持てたりすることとして、教師や友だちに自分の行動や頑張りを認めてもらえたときという内容が多く書かれていました。教師が子どもたちを褒め励まし認める手本となり、子ども同士が認め合える関係性を作っていきたいと思います。また、お子さんの努力が認められるよう、支援してまいります。
- ・高学年の保護者の方からは、音楽クラブの活動が楽しく、また、自信につながっているというご意見を複数いただきました。今年度もコンクールにもたくさん参加させていただき、いい経験を積んでいるかと思っています。ご協力、ありがとうございます。
- 運動会や音楽会への保護者参加についてご意見をいただきました。PTAの方々と相談してまいります。

▼ご多忙の所、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今後とも、本校へのご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。